

地域の読書ボランティア等への講師派遣事業

「子どもの読書活動を支える地域をめざして」

～瀬戸内市子ども読書活動推進委員会～

1 事業のねらい

- ・ 瀬戸内市内で活動しているボランティア団体、PIA等を対象に、子どもにおはなしやわらべうた遊びを届ける活動をしている方の講演会を開催し、ボランティア活動の資質向上を図る。ボランティア活動をしている方には、実践の様子から学ぶこと、ボランティア未経験者には読書ボランティアへの関心を深めることを目的とした。また、事業の振り返りを目的とした実践報告会を開催するとともに、子どもの読書活動について理解を深めるために基調講演を開催した。

2 日程・会場・参加者

- ・ 実行委員会
7月5日(木) 瀬戸内市役所・牛窓支所・13名
12月19日(水) 瀬戸内市中央公民館・10名
- ・ 研修会
わらべうた 10月4日(木) 牛窓西幼稚園他7幼稚園・保育園・329名
おはなし 7月5日(木) 牛窓東幼稚園他2幼稚園・保育園・110名
実践発表・基調講演 1月7日(月) 国府幼稚園・34名

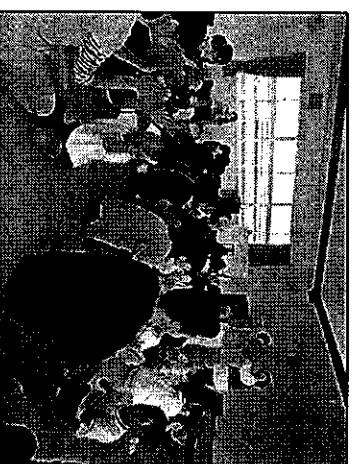
3 事業の特徴、工夫点

- ・ 親子で、わらべうた遊び・おはなし会を体験しその後、講師からの話を聞くことで、理論と実践を学べる講座となった。
- ・ 幼稚園・保育園等で開催し保護者は全員、地域の方等も参加できるよう公開講演会とした。
- ・ 実行委員を地域ボランティア・幼稚園・保育園・小中学校・行政から選出し、連携を図るようにした。

4 事前準備等具体的な事業の流れ

地域の読書ボランティア等への講師派遣事業を開始するにあたり、岡山県教育庁生涯学習課から、岡山わらべうたの会脇本幸子さん、おはなしグループ「そらきたホイ！」の相賀美幸さん・堀江潤子さんを紹介していた。

この事業の趣旨を幼稚園・保育園の各園長会で説明し、希望園を募った。講師との日程調整後、11園でわらべうたやおはなしの講座を開催した。実践発表基調講演については、実行委員会で内容を協議し決定した。



わらべうたを通じて育む子どもの豊かな心

5 研修会等の様子

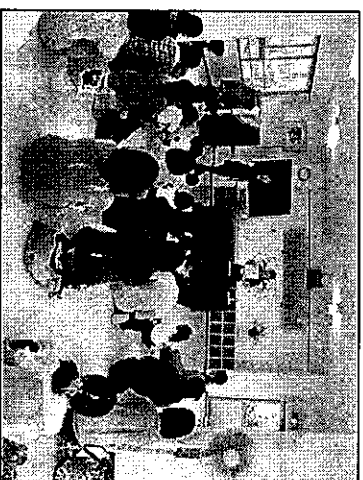
- ・ わらべうたを通じて育む子どもの豊かな心
子どもたちがわらべうた遊びを体験する中で、相手に調子を合わせたり、正しい日本語を使う様子を見ることができた。そうした中で、人と人との関わりを体で感じ、人間関係作りの基礎を学ぶことが自然とできていた。「わらべうたは母国語の離乳食」と言われる講師の言葉に多くの参加者がうなずき、幼児期の子どもたちには言葉の離乳食が必要だと認識を深めた。

- ・ おはなしを通じて育む子どもの豊かな心
おはなし会を親子で一緒に聞くことで、大人も絵本を読んでもらう経験をし、そのことの心地よさを体感することができた。その後の講話では絵本を生活の中に取り入れることの効果や成長過程での大人の関わり方も学ぶことができた。

- ・ 子どもの読書活動を支える地域をめざして

基調講演では、兵庫大学短期大学の徳永満理講師が絵本作家としての作成秘話や長年保育現場で絵本を活用してきた実践を話された。大人に絵本を読んでもらう触れ合いの重要性や、繰り返し絵本を読むことで自分の生活や人生にその物語が取り入れられていき、想像力が育まれることを講義した。また、年齢に応じた絵本を選ぶポイントやお薦めの本を次々と紹介された。

市内の幼稚園・保育園も絵本を行事に取り入れられたり、地域のボランティアと連携を図りながらおはなし会を行っている様子を発表した。瀬戸内市立図書館も移動図書館の様子を報告し、幼稚園・保育園と保護者・地域の連携の大切さを再認識することができた。



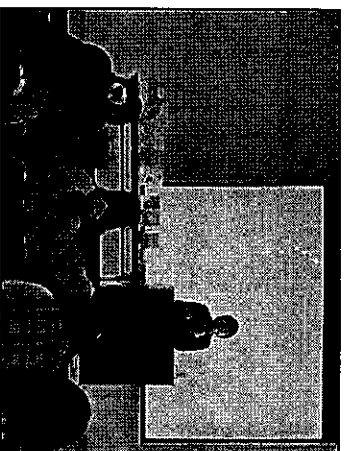
おはなしを通じて育む子どもの豊かな心

6 成果と今後の課題

実行委員を選出する際に地域ボランティア・幼稚園・保育園・小中学校・行政から選出することで、子どもの読書活動に関わる多くの方にこの事業に関心を持って関わってもらうことができた。それまでも個々には、自己研鑽を積み子どもたちの読書活動を支援していたが、連携を図ることでボランティアをする立場や受け入れる立場での意見交換をすることもできた。

また、講師の方々の実践を学ぶことで、地域でのボランティア活動を客観的に見直すことやこれからの活動につながるヒントを得ることができた。基調講演では、絵本が子どもにも与える影響を理論的に講義していただくことで、地域での活動がより充実したものとなった。

今後は、地域での読書ボランティアに関わる人々を支える公共図書館の充実が望まれる。資料提供はもちろんのこと、今回のような講座も継続的に行っていくことが望まれている。また、ボランティア同士もお互いの情報交換をする場としても公共図書館は最適である。今後、瀬戸内市の子どもたちの読書活動についてをより多くの方々に支えていく体制づくりを強化していきたい。



子どもの読書活動を支える
地域をめざして